

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人若草会

「社会福祉法人は、社会福祉事業の担い手としてふさわしい事業を、確実、効果的かつ公正に行うために、その経営基盤の強化を図るとともに、提供する福祉サービスの質の向上と事業経営の安定性を確保し、地域福祉の向上と増進に努めていかなければならない」ということを基本方針として法人運営を行ってきた。

介護事業においては、平成27年度に介護報酬が大幅に引き下げられ、平成28年度も厳しい経営状況であった。そのような中でも、各事業所の職員、特に主任、管理職等の努力の結果、黒字決算とすることができた。

保育園は4園で年間5,254名(定員の110%)と弾力的な受け入れを行い、安定した運営ができた。また保護者から選ばれる保育園となるために、施設整備の充実や地域・家庭との連携を図り、安心した保育生活が送れるよう努めた。

介護職員、保育士等の採用、離職については数年前から全国的に厳しい状況が続いており、当法人も例外ではなく、平成28年度も思うような人材の確保、また離職の防止ができなかった。

保育士の募集については県内外の学校を訪問し、積極的に人材確保に努めた。また昨年度に引き続き、「若草会ヒューマンリソース・プロジェクト」を開催し、各事業所からなる11名のメンバーにより「働きやすい職場づくり」や「働き甲斐のある職場づくり」をテーマに、計12回の会議を行い、離職防止や職員の処遇改善について議論を行った。会議では建設的な提言が多くあり、実践できることから取り組んでいる。